

Ⅱ 前期計画の実績（平成 22～26 年度）

1 事業・目標の取組状況

前期計画では、掲載している事業（以下「個別事業」という。）ごとの目標と、これらの事業実施を通じ平成 26 年度までに到達すべき目標である「中期経営目標」を設定しています。

また、震災からの復旧・復興を加速させるため、個別事業のうち、施設の耐震化や老朽管更新など、震災対策の観点から緊急的・重点的に取り組むべき事業を「震災対策推進事業」と位置付け、目標を上方修正して取り組みに当たってきました。

前期計画期間における個別事業と中期経営目標の評価は、概ね良好な状況となっており、震災の影響を受けながらも、順調に進捗しているといえます。

2 主な取組成果

施策の基本的方向性*	前期計画における主な成果
1 安全・安心で良質な水道水の提供	<ul style="list-style-type: none"> 高度浄水処理施設の導入（茂庭浄水場、国見浄水場） 「仙台市水安全管理対応マニュアル」の策定 仙台市水道局独自の水質目標の設定
2 安定・信頼の水道システムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ◎管路の更新（配水幹線約 4km、老朽管約 87km） ◎施設の耐震化（浄水場・配水所の耐震診断実施、茂庭浄水場の耐震化着手） ◎水運用機能の強化（配水幹線整備約 3km、配水ブロック再編成、太白配水所系の広域水道単独配水区域の解消） ◎災害時給水施設の増設（配水所・小学校など 43 箇所） ◎非常用自家発電装置の燃料タンク増強（中原浄水場など） ◎新潟市水道局との「災害相互応援に関する覚書」の締結
3 お客さまの視点に立った事業運営	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット「仙台の水道」やボトルドウォーター「ごくり◆きらり せんだい」などの製作 青下水源地・水道記念館の再整備 「水道修繕受付センター」の設置 「地元密着型水道修繕登録店制度」の創設
4 環境に配慮した事業運営	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備の導入（茂庭浄水場） 小水力発電設備の導入（安養寺配水所のほか、上追沢沈砂池における官民連携による小水力発電事業に着手） 省エネルギー型機器への切り替え（浄水場・ポンプ場など）
5 経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> 業務委託の拡大（給水装置関係業務・水道修繕受付センター） アセットマネジメントの考え方に基づく計画的な更新・耐震化 給配水技術研修施設の整備 「仙台市水道マンパワー向上プラン」の策定
6 新たな視点に立った事業運営	<ul style="list-style-type: none"> 近隣水道事業者との連携（合同勉強会や実技講習会の開催） 海外からの技術研修員の受け入れ（延べ 22 カ国、54 名） 国際会議などにおける震災の経験を踏まえた情報発信

※「◎」は「震災対策推進事業」を表しています。

* 施策の基本的方向性・・・基本計画において、基本理念のもと優先的・重点的に取り組むべきとされているもの。